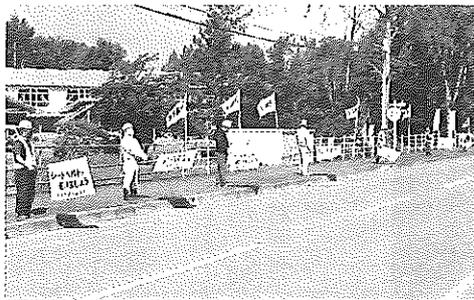


6/29 通員

2022年(令和4年)6月29日 【水曜日】

学校前の道道で旗波

平田建設 交通安全啓発活動



2現場から18人が参加

【帯広発】(株)平田建設(帯広、長谷川雅毅社長)は27日、帯広市立清川小学校および清川中学校前の道道清水大樹線で交通安全街頭啓発活動を実施した。近隣で施工する2現場の関係者18人が参加。通学する児童生徒の安全確保に向けて、スピードダウンやシートベルト着用を呼びかけた。

帯広開建発注の「芽室川西地区八千代送水幹線用水路」路広野23号工区ほか一連「芽室川西地区岩内幹線用水路太平西5線工区」を施工する同社は、清川小の隣りに現場事務所を設置。同校前には道道清水大樹線があり通行量が多いこと、道道を挟んだ向かい側には清川中があり児童生徒の通学路となっていることから、旗波による交通安全街頭啓発運動を行った。

当日は、両現場の関係者

18人が参加。沿道に立って「スピードダウン」「シートベルトを着けましょう」と書かれた旗を掲げ、ドライバーに注意を呼びかけた。

広野23号工区工事の山岸直幸現場代理人は「スクーターバスで通う児童がいる中、歩いて通う児童がいる。安全に関して何か貢献できれば、太平西5線工区工事の松崎光春現場代理人は「毎朝子どもが通学する中、通行車両はスピードが出ていて感じています。活動を通して子どもたちの安全確保に役立てれば」と成果に期待した。